

ま ち の 話 題

豊岡

**交通安全啓発全国キャラバン隊来豊
熱いメッセージ、全国に届け!!**

8月28日、交通安全啓発全国キャラバン隊が市役所を訪れ、街頭で市民らに交通安全を呼び掛けました。

同隊は、内閣府の委託を受けた全国交通安全母の会連合会で、子どもや高齢者を守るため、全国をリレーしながら交通安全を訴えています。市役所前で行われた内閣府特命担当大臣のメッセージ伝達式には、隊員や市・警察関係者など約100人が参加。隊長（兵庫県交通安全協会婦人部連絡協議会長）の大岡夫美子さんがメッセージを中貝市長に伝達し、中貝市長は「地道に交通事故ゼロを目指して頑張ります」とあいさつしました。



▲中貝市長に内閣府特命担当大臣メッセージの伝達を行うキャラバン隊長

城崎

おめでとう100歳

観光客も一緒に祝い

城崎温泉駅開業100周年記念式典・イベント

9月6日、100歳を迎えたJR城崎温泉駅を祝う催し（城崎温泉観光協会主催）が、駅前広場で開催されました。式典では、駅100年の歩みを振り返り、一日駅長の任命などが行われ、くす玉を割って祝いました。

一日駅長を務めた来年1月に100歳になる小西悟市さん（香住）は、特急「はまかぜ1号」に出発の合図をする大役を終えた後、「駅は発展してきたが、家族を迎えるように変わらず温かく迎えてほしい」と話しました。

式の後、同広場では、城崎ビールが振舞われ、「湯けむり太鼓」が響き、じゃんけんぽん大会には観光客も参加し、にぎわっていました。



▲出発の合図をする1日駅長の小西さん（中央）、平岡城崎温泉駅長（左）、復刻制服を着た駅員

竹野

**竹野川のいかだ下り
青空の下で自然を満喫!**

8月22日、竹野町鬼神谷から和田まで約2、500メートルの竹野川コースで、中竹野小学校の「いかだ下り」が開催され、全校児童49人が参加しました。

5・6年生が艇長になり、1・4年生と一緒に、1艘に3・4人が乗りました。手作りの班旗をマストに掲げて、普段見る景色とは違った竹野川をゆったり、時には急流でスリルを味わいながら、目を輝かせて元気に下っていました。

1年生の高橋駿輔君は「みんなで協力して川を下れて、レースも1位になったので、楽しかったです」と喜んでいました。



▲竹野川をそれぞれのいかだで楽しく下る児童たち

日高

全日本少年フットサル 但馬地区予選

ボールを奪って

ゴールへシュート！

9月6日、ホテルKOSHIO(日高町土居)のフットサルグラウンドで、県大会の但馬地区予選が開催され、各地域の小学5年生・6年生を中心に構成されたサッカークラブから18チーム(約180人)が試合に挑みました。

どのチームも、県大会出場を目指し、強い日差しが照りつける中、各選手は、1つのボールを奪い合い、試合終了時間まで駆け回っていました。

国府SSCの内田貴斗君(府中小学校6年)は「試合には負けただけ全員で楽しくできた。他チームの上手なプレーを手本に、もっと上達したい」と一層の躍進を誓っていました。



▲1点でも多く得点しようと必死でボールを奪い合う選手たち

出石

遺跡ウォーク

天日槍ゆかりの地めぐり

歴史の町・出石を再発見！

8月23日、出石地域で「遺跡ウォーク」を開催し、21人が参加しました。

このイベントは、但馬国府・国分寺館で実施した「アメノヒボコの考古学」展の関連事業で、天日槍ゆかりの地・出石の遺跡を巡り、約7キロメートルのコースを歩くものです。辰鼓櫓をスタートし、本覚寺や茶臼山古墳など出石市街地周辺の遺跡や天日槍にまつわる出石神社などを訪れました。

参加した日高町在住の女性は、「これまで出石はそばの町だと思っていたが、歴史の町でもあることが分かった」と話していました。出石の魅力を再発見できた一日でした。



▲茶臼山古墳(出石町谷山)の前で、説明を受ける参加者たち

但東

田んぼアート

鮮やかに浮かび上がった

招き猫

9月6日、但東町奥藤の田んぼに、「招き猫」を描いたアートがお目見えしました。

これは、おくふじ古代米生産組合が約10アールの田んぼに、5種類の古代米の稲で描いたもので、今年で4作品目となります。

近くにある展望台では、多くの来場者がアートを眺め、会場では、古代米のおにぎりの振る舞いなどもあり、にぎわいました。

同組合長の羽尻司郎さんは「過疎地に多くの人を呼びたいと左手を上げた招き猫を描きました。地域の活性化と古代米のPRにつながることを願っています」と話していました。アートは、9月末まで見ることが出来ます。



▲田んぼアートを眺める来場者。カメラ付き携帯電話で撮影して、待ち受け画面にする方も